

編集後記

東日本大震災から1カ月半以上経過し少し落ち着いてきたと思います。被災者の皆様には心からお見舞い申し上げます。連日報道される巨大地震と津波の爪痕はあまりにも大きく、加えて被災した原子力発電所の安定化にはまだ予断を許さない状況ですが、これからの被災者の方々の生活と地域の復興にはできる限り支援させて頂きたいと思っております。

我が国は地震、津波、火山、台風、大雪など世界にも類を見ない災害のオンパレードであり、さらに最近では集中豪雨や突風・竜巻などの発生頻度が増して毎年大きな被害が出ています。建設業は、防災インフラや災害に強い構造物の建設が使命であり、また建設機械は災害復旧・復興に欠かせないなど、災害と深くかかわっており、本誌でも定期的に防災・災害復旧関連の特集を組んでいます。しかし、今回の大震災後の探索活動や瓦礫の撤去、原発の対処作業等を見ているとまだまだ手作業が主体で、これまで特集号で紹介したロボットや機械技術が、実際の災害現場では十分に活用されているとは言えないのが現状です。それでも我が国の優れた建設機械やロボット技術を活用するため、今後1～2カ月でこれまでの研究開発成果に改良を

加えて作業現場に投入していこうという動きが活発になっています。やはりこのような緊急事態に迅速に対応するためには、技術的な研究開発とともに災害時の運用技術や平常時の訓練等の積み重ねが重要であることを実感しました。

今月号の特集テーマは「建築」です。建築では、超高強度コンクリートを用いた高品質・高耐久化、地震時の安全・安心や持続可能な社会に適合する建物などの要求が高まり、各社で様々な取り組みがなされています。また、自動化・ロボット化の研究開発が始まって20年以上が経過し、バブル崩壊や長期の景気低迷などの影響もあり、残念ながら実用化され普及したロボットは非常に少ないのですが、最近では情報化が進み計画、管理から検査、維持管理など広範囲にわたって活用され始めています。このような視点から特集を構成し、巻頭言は早稲田大学の嘉納教授に建設におけるロボット化の将来について執筆して頂き、お隣の韓国からは、現在韓国で活発に行われている建設工事の自動化・ロボット化の研究開発について寄稿して頂きました。

最後になりましたが、ご多忙中にもかかわらずご執筆頂いた執筆者の皆様には深く御礼申し上げます。

(星野・松本)

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	今岡 亮司
加納研之助	桑垣 悦夫
後藤 勇	佐野 正道
新開 節治	関 克己
高田 邦彦	田中 康之
田中 康順	塚原 重美
寺島 旭	中岡 智信
中島 英輔	橋元 和男
本田 宜史	渡邊 和夫

編集委員長代行

太田 宏 (株)クレアリア

オブザーバ

山下 尚 国土交通省

編集委員

山田 淳	農林水産省
伊藤 健一	(独)鉄道・運輸機構
石戸谷 淳	首都高速道路(株)
松本 久	(独)水資源機構
松本 敏雄	鹿島建設(株)
和田 一知	(株)KCM
安川 良博	(株)熊谷組
渥美 豊	コベルコ建機(株)
富樫 良一	コマツ
藤永友三郎	清水建設(株)
赤神 元英	日本国土開発(株)
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン(株)
星野 春夫	(株)竹中工務店
齋藤 琢	東亜建設工業(株)
相田 尚	(株)NIPPO
田岡 秀邦	日本道路(株)
堀田 正典	日立建機(株)
岡本 直樹	山崎建設(株)
中村 優一	(株)奥村組
石倉 武久	住友建機(株)
江本 平	範多機械(株)
京免 継彦	佐藤工業(株)
松澤 享	五洋建設(株)
藤島 崇	施工技術総合研究所

6月号「維持管理・長寿命化・延命化・リニューアル特集」予告

- ・(独)土木研究所構造物メンテナンス研究センターの活動紹介
- ・社会資本の予防保全的管理のための点検・監視技術の開発
- ・既設導水路トンネルの改築
- ・神一・神二・仏原ダムラジアルゲート取替工事の概要
- ・横山ダム主放流ゲート設備の維持管理 既存設備の有効活用と未来への情報伝達
- ・下久保ダム表面取水設備のリニューアル
- ・レーダー技術を用いたトンネル覆工検査車による覆工内部計測の検証
- ・亜鉛・アルミ合金溶射による新しい電気防食工法
- ・新耐震GX形ダクタイル鉄管の長寿命化技術の紹介
- ・長寿命化コンクリート「EIEN」
- ・管路継手部の水密試験方法 エアー式テストバンド工法
- ・軌道レール温度上昇抑制工法の開発と実施例

No.735「建設の施工企画」 2011年5月号

[定価] 1部840円(本体800円)
年間購読料9,000円

平成23年5月20日印刷

平成23年5月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 辻 靖 三

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	〒980-0802 仙台市青葉区二日町16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	電話 (025) 280-0128
中部支	〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支	〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	〒760-0066 高松市福岡町3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-8-26	電話 (092) 436-3322

本誌上への広告は(株)共栄通信社までお問い合わせ下さい。

本社 〒105-0004 東京都港区新橋3-15-8(精工ビル5F) 電話 03-5472-1801 FAX 03-5472-1802 E-MAIL: info@kyoeitushin.co.jp
担当 本社編集部 宗像 敏